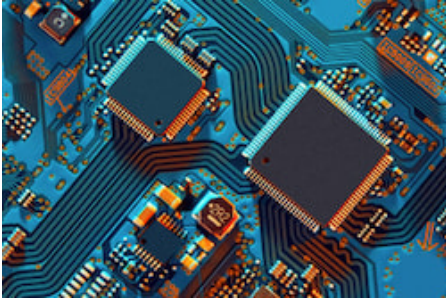


“新常態”に対応せよ(第10回)

半導体不足でオフィスの電子機器が消える？

2022.04.18



パソコンや5G対応スマホ、ゲーム機などの電子機器市場が大変な状況になっている。「売りたいが品物がない」「人気モデルは数カ月待ちもザラ」といった悲鳴が販売店から聞かれる。原因は、長引くコロナ禍の巣ごもりで電子機器の需要が拡大する一方、アジアなどの半導体・電子部品工場の操業停滞もあり、世界的に半導体が不足しているためだ。電子機器に限らず、半導体不足は日本の自動車産業などにも大きく影響する。業績予測の下方修正を余儀なくされるメーカーもある。

先端半導体は海外からの輸入に依存

経済産業省の「半導体戦略(概略)」では、半導体を「デジタル社会を支える重要基盤であり、安全保障にも直結する死活的に重要な戦略技術」と位置付ける。1980年代に日本の半導体メーカーは世界で大きなシェアを持っていたが、日米半導体協定による貿易規制や半導体の技術進化に取り残されて衰退。現在の日本では、高度な制御や演算処理を担う先端半導体は海外からの輸入に依存しているのが実情だ。

半導体不足の影響はビジネス関連機器にも及ぶ。情報通信産業の業界団体、情報通信ネットワーク産業協会(CIAJ)では「2021年度第1四半期(4～6月)の通信機械生産・輸出入概況」を取りまとめている。「ボタン電話や構内用電子交換機などのビジネス関連機器は、新型コロナ禍の影響による中小企業などの業績悪化や、半導体不足の影響を受けて受注活動や設置工事が停滞した」と分析する一方、「携帯電話は、第5世代移動通信システム(5G)対応スマートフォンの新製品発売や、3G機種からの買替販売促進によって需要が回復」としている。

ビジネスフォンの導入に時間がかかるケースも… 続きを読む